

平成28年 厚木基地に関する主なできごと

月 日	内 容
4月26日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を実施する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 硫黄島（東京都小笠原村）における着陸訓練            (1) 訓練期間 5月3日（火）から5月13日（金）まで            (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで            (3) 訓練機種 空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A）</p> <p>2 なお、硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。            (1) 厚木飛行場            ア 訓練期間 5月9日（月）から5月13日（金）まで            イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで            (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場            ア 訓練期間 5月10日（火）から5月13日（金）まで            イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで            ※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p> <p>3 防衛省としては、できる限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
4月27日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、神奈川県知事及び厚木基地周辺9市（海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市）長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。（</p> <p>1 要請内容            (1) 4月26日、防衛省から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について通告があった。平成25年6月の着陸訓練以降、今回の訓練に係る通告も、天候等の事情がない限り、厚木基地では着陸訓練を実施しないとの内容であり、厚木基地の騒音の軽減に配慮がされたものとする。            (2) しかし、依然として、硫黄島において所要の訓練が実施されない場合には、厚木基地においてジェット機を含む全機種が訓練が行われる可能性があり、これは、着陸訓練の厚木基地からの全面移転を強く求めてきた厚木基地周辺住民の願いに反するものである。            (3) 日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、訓練環境の整備等に万全を期し、全ての訓練が硫黄島で実施されることを確実にするよう、強く求める。</p> <p>2 要請先及び要請結果            県基地対策部長及び厚木基地周辺市の基地対策所管課長等が、防衛大臣宛の要請書を南関東防衛局に持参。  <b>【南関東防衛局回答】</b>            ○厚木飛行場は人口が密集した市街地に所在し、同飛行場周辺住民の方々には、空母艦載機の騒音をはじめとする様々な負担をおかけしていることは、国としても十分承知している。            ○防衛省としても、既に本省レベルで在日米軍司令部に、局からも在日米海軍司令部に対し、可能な限り硫黄島での訓練を追求するよう、強く要請を行った。            ○本日の要請についても、米側にしっかりと伝えていきたい。            ○防衛省としては、厚木基地周辺の騒音軽減対策について、引き続き取り組んでいく。</p>
5月9日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが5月9日（月）午前10時8分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
5月13日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが5月13日（金）午後1時18分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
5月24日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を追加実施する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 硫黄島（東京都小笠原村）における着陸訓練            (1) 訓練期間 5月27日（金）から6月1日（水）まで            (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで            (3) 訓練機種 空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A）</p> <p>2 硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。            (1) 厚木飛行場            ア 訓練期間 5月29日（日）から6月1日（水）まで            イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで            (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場</p>

	<p>ア 訓練期間 5月30日(月)から6月1日(水)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで ※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p> <p>3 防衛省としては、できる限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
5月25日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、神奈川県知事及び厚木基地周辺9市(海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市)長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容 (1) 5月24日、防衛省から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練の日程延長について通告があった。4月26日の通告と同様、今回の通告も、天候等の事情がない限り、厚木基地では着陸訓練を実施しないとの内容であり、厚木基地の騒音の軽減に配慮がされたものとする。 (2) しかし、依然として、硫黄島において所要の訓練が実施されない場合には、厚木基地においてジェット機を含む全機種種の訓練が行われる可能性があり、これは、着陸訓練の厚木基地からの全面移転を強く求めてきた厚木基地周辺住民の願いに反するものである。 (3) 日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、訓練環境の整備等に万全を期し、全ての訓練が硫黄島で実施されることを確実にするよう、強く求める。</p> <p>2 要請先及び要請結果 県基地対策部長及び厚木基地周辺市の基地対策所管課長等が、防衛大臣宛の要請書を南関東防衛局に持参。 【南関東防衛局回答】 ○厚木飛行場周辺の住民の皆様には、空母艦載機の騒音をはじめとする様々な負担をおかけしていることは、国としても十分に承知している。 ○今般の日程延長は、空母の出港の遅れの関係で、実施せざるを得ないと米側から聞いている。 ○遅れの原因は、空母のメンテナンスによるものであるが、安全性に問題はないと聞いている。 ○防衛省としては、在日米海軍司令部等に対し、可能な限り硫黄島での訓練を迫るよう、既に申し入れている。 ○本日の要請についても、しっかりと米側に伝えるとともに、今後とも、厚木基地周辺の騒音軽減対策について、取り組んでいく。</p>
5月31日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが5月31日(火)午前11時56分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。
6月1日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが6月1日(水)午後5時12分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。
6月4日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが6月4日(土)午前9時53分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。
7月26日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが7月26日(火)午後5時1分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。
8月16日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を実施する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 硫黄島(東京都小笠原村)における着陸訓練 (1) 訓練期間 8月23日(火)から8月30日(火)まで (2) 訓練時間 午前11時から翌日午前3時まで (3) 訓練機種 空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機種(FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A)</p> <p>2 なお、硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。 (1) 厚木飛行場 ア 訓練期間 8月26日(金)から8月30日(火)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで (2) 三沢飛行場及び岩国飛行場 ア 訓練期間 8月27日(土)から8月30日(火)まで イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで ※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p> <p>3 防衛省としては、できる限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
8月17日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが8月17日(水)午前11時50分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。
8月17日	神奈川県基地関係県市連絡協議会(県、海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成)構成県市より県副知事及び海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市の副市長等が国に対し、基地問題に関する要望書を持参し、要請活動を行いました。

	<p>1 要請内容</p> <p>(1) 米軍基地の整理・縮小・早期返還について</p> <p>(2) 厚木基地における航空機騒音の解消について</p> <p>(3) 米国原子力艦の事故による原子力災害対策の強化充実について</p> <p>(4) 日米地位協定の見直し及び運用の適切な改善について</p> <p>(5) 住宅防音工事等、騒音対策の充実について</p> <p>(6) 国による財政的措置及び各種支援策の充実について</p> <p>2 要請先</p> <p>外務省、防衛省、内閣官房、内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、環境省、原子力規制庁</p>
8月17日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、神奈川県知事及び厚木基地周辺9市（海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市）長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <p>(1) 8月16日、防衛省から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について通告があった。平成25年6月の着陸訓練以降、今回の訓練に係る通告も、天候等の事情がない限り、厚木基地では着陸訓練を実施しないとの内容であり、厚木基地の騒音の軽減に配慮がされたものとする。</p> <p>(2) しかし、依然として、硫黄島において所要の訓練が実施されない場合には、厚木基地においてジェット機を含む全機種種の訓練が行われる可能性があり、これは、着陸訓練の厚木基地からの全面移転を強く求めてきた厚木基地周辺住民の願いに反するものである。</p> <p>(3) 日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、訓練環境の整備等に万全を期し、全ての訓練が硫黄島で実施されることを確実にするよう、強く求める。</p> <p>2 要請先及び要請結果</p> <p>県基地対策部長及び厚木基地周辺市の基地対策所管課長等が、防衛大臣宛の要請書を南関東防衛局に持参。</p> <p>【南関東防衛局回答】</p> <p>○厚木飛行場は人口が密集した市街地に所在し、同飛行場周辺住民の方々には、空母艦載機の騒音をはじめとする様々なご負担をおかけしていることは、国としても十分承知している。</p> <p>○今回の着陸訓練は、空母ロナルド・レーガンが7月26日に入港したことから、空母艦載に必要な技量及び資格取得の必要が生じたため、このような時期に実施することになったものと承知している。</p> <p>○防衛省としても、既に本省レベルで在日米軍司令部に、局からも在日米海軍司令部に対し、可能な限り硫黄島での訓練を追求するよう、強く要請を行った。</p> <p>○本日の要請についても、米側にしっかりと伝えていきたい。</p> <p>○防衛省としては、厚木基地周辺の騒音軽減対策について、引き続き取り組んでいく。</p>
8月18日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが8月18日（木）午前11時50分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
8月28日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが8月28日（日）午後1時3分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
8月30日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練の訓練期間を変更する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 着陸訓練概要</p> <p>(※下線部は、前回からの変更箇所)</p> <p>(1) 訓練期間 8月23日（火）から<u>8月31日（水）</u>まで</p> <p>(2) 訓練機種 空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2C、C-2A）</p> <p>2 硫黄島における天候等の事情により、所要の訓練を実施できない場合には、次の一部又は全部の飛行場において訓練を実施します。</p> <p>(※下線部は、前回からの変更箇所)</p> <p>(1) 厚木飛行場</p> <p>ア 訓練期間 8月26日（金）から<u>8月31日（水）</u>まで</p> <p>イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで</p> <p>(2) 三沢飛行場及び岩国飛行場</p> <p>ア 訓練期間 8月27日（土）から<u>8月31日（水）</u>まで</p> <p>イ 訓練時間 午前10時から午後10時まで</p> <p>※上記の日時は、天候や航空機の整備等の事情から変更される可能性があります。</p> <p>3 防衛省としては、できる限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
8月31日	<p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが8月31日（水）午前10時9分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>

9月5日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが9月3日（土）午前11時12分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。
10月28日	<p>厚木基地騒音対策協議会（神奈川県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、座間市、綾瀬市、東京都町田市で構成）で厚木基地における米空母艦載機の夜間連続訓練による航空機騒音の解消等に関する要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <p>（1） 早期かつ着実に空母艦載機の移駐等を実施すること</p> <p>（2） 恒常的訓練施設を確保すること</p> <p>（3） 移駐実現までの間も、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと</p> <p>2 要請先</p> <p>内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在日米軍司令官、第7艦隊司令官、在日米海軍司令官、厚木航空施設指令官、第5空母航空団司令官</p>
11月21日	神奈川県政策局基地対策部基地対策課より米空母ロナルド・レーガンが11月21日（月）午前9時45分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。
12月14日	<p>沖縄県名護市沖の海上において米海兵隊のMV-22 オスプレイが不時着水した事故について、神奈川県知事及び厚木基地周辺11市（海老名市、横浜市、相模原市、横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市、町田市）長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <p>（1） 当該事故の原因を早急に究明し、事故原因に応じた適切な再発防止策を講ずるよう米側に求めること。</p> <p>（2） 安全が確認されるまでは県内基地周辺に飛来しないよう米側に求めること。</p> <p>（3） 今回の事故原因や再発防止策等の情報については、遅滞なく公表すること。</p> <p>2 要請結果</p> <p><b>【防衛省回答】</b></p> <p>○本日、防衛大臣、外務大臣から事故原因の究明、情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止を申し入れた。</p> <p>○米側からは、速やかな情報提供、オスプレイの一時飛行停止及び日本政府との緊密な調整を行ったうえでの飛行再開について回答があった。</p> <p>○今回の事案を受けて、オスプレイの安全性について地元の懸念が大きくなっていることは理解できる。</p> <p>○基地周辺住民の皆様から安全性について高い関心を集めているMV-22 オスプレイの今般の事故は、防衛省としても深く受け止め、引き続き、早急な情報提供に努める。</p> <p>○本件要請については、確実に防衛本省に伝える。</p>